

活動名	団体名	ひまわり
東広島おもちゃ図書館ピノキオ10周年記念行事	地 域	広島県東広島市
	代 表 者	代表 増井 里恵
	支援金額	20万円
活動概要		
<p>設立から10周年を迎えた東広島おもちゃ図書館ピノキオの10年間のあゆみを振り返り、これからの10年間の活動に向けて新たなボランティアを育成し、活動を強化していくこと。また、おもちゃ図書館を広く周知し、障害児の「遊び場」を告知していくことを目的とした活動です。</p>		
<p>◆実施時期 2010年4月1日～2011年3月31日</p>		
<p>◆参加人数 6月19日ピノキオランド 17人 9月25～26日全国ボランティアフェスティバルひろしま 12人 1月22日ピノキオランド 7人 2月12日児童図書プレゼント会 23人 3月5日クレープ作り 7人</p>		参加総人員:66名



6月ピノキオランド



6月ピノキオランド



1月ピノキオランド



クレープ作り

◆実施に伴う効果

おもちゃ図書館が地域の方に知られる「きっかけ」になったと考えています。
障害児が安心してのびのびと育まれるための活動をしている「おもちゃ図書館」の活動を地域に
人に知ってもらい、障害児への理解を求める活動になったと考えています。
また、障害児にとっても、健常児と一緒に遊べる場所として活用していただけるように、いろいろ
と考えていただいたようです。

◆苦労した点

参加費を、健常児に関して一人100円求めたことで、参加者が少なくなる傾向があります。
参加費の徴収は、「儲ける」ためではなく、健常児の参加をある程度抑制し、障害児が安心して遊
べるようにしたい、との考え方からですが、公営で健常児が無料で遊べる場所があることで、健常
児の遊び場としての選択肢から外されてしまったようです。
しかし、障害児の保護者からは、元気な健常児たちに萎縮したり遠慮することなく、のびのびと
遊べた、との感想も寄せられました。
障害児と健常児の「ふれあい」も必要ですし、健常児にとっても、障害を持つ人のことを知るのは
大切なことです。元気な子どもたちと障害を持つ子どもたちのバランスをどのように考えてい
くか、永遠のテーマのように苦労(?)しています。

◆今後の課題・発展の方向性

障害児が安心して遊べるために、そして、健常児がおもちゃで遊べる機会を増やすために、健常
児が無償で遊べる日(完全開放日)も織り交ぜながら開催していくこと、そして、健常児の保護者に
も障害児を理解する機会を作ること、たくさんの人をボランティアに「巻き込んでいく」ことを課
題とし、ボランティアを育成する研修メニューの充実を図りたいと考えています。

◆活動を終えての感想・意見等

ピノキオを開館して10年。記念すべきときに何か楽しいことをしたい。それから、次の10年に向
けて新しいボランティアも増やしたい。そんな思いから1年間の活動を続けました。
とにかく楽しいことをしよう、と思い続けましたが、大人が「楽しい」と思うことと子どもが「樂
しい」ことが違い、子どもたちに「振り回される？」とっても楽しい活動でした。
障害を持つことと持たないことが「紙一重」のできごとだと伝えていけたら、と思います。